

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 宮城快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 宮城県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 宮城住創造研究会	(結成年月) 平成 24 年 5 月
3. 代表的な地域材の名称・産地・認証制度等 (必須)	(名称) 国産杉・国産唐松・LVL	(産地) 岩手県・北海道・ニュージールランド
		(認証制度等) 合法木材
4. 構成員の連携体制や、地域材供給の流れ等のフロー図等 (必須)		

グループの連携体制

グループの活動方針

- 東日本大震災の被災地であり、宮城の地場工務店で手を組み、心休まる安心快適な家を早期にご提供する趣旨の元、良質な地域型住宅を供給する事とし、構成員の技術向上と知識・活動を共有する。
- 地震に強い家づくり、手入れしながら永く住み続ける事の出来る家づくり対策を積極的に取り入れ、いつまでもこの宮城の地に住み続けて頂く為の研究を続けていく地場密着の家づくり研究会である。
- グループ内に技術研究会を設け、持続・継続可能な仕組み・技術を消費者に対し信頼向上を図る。



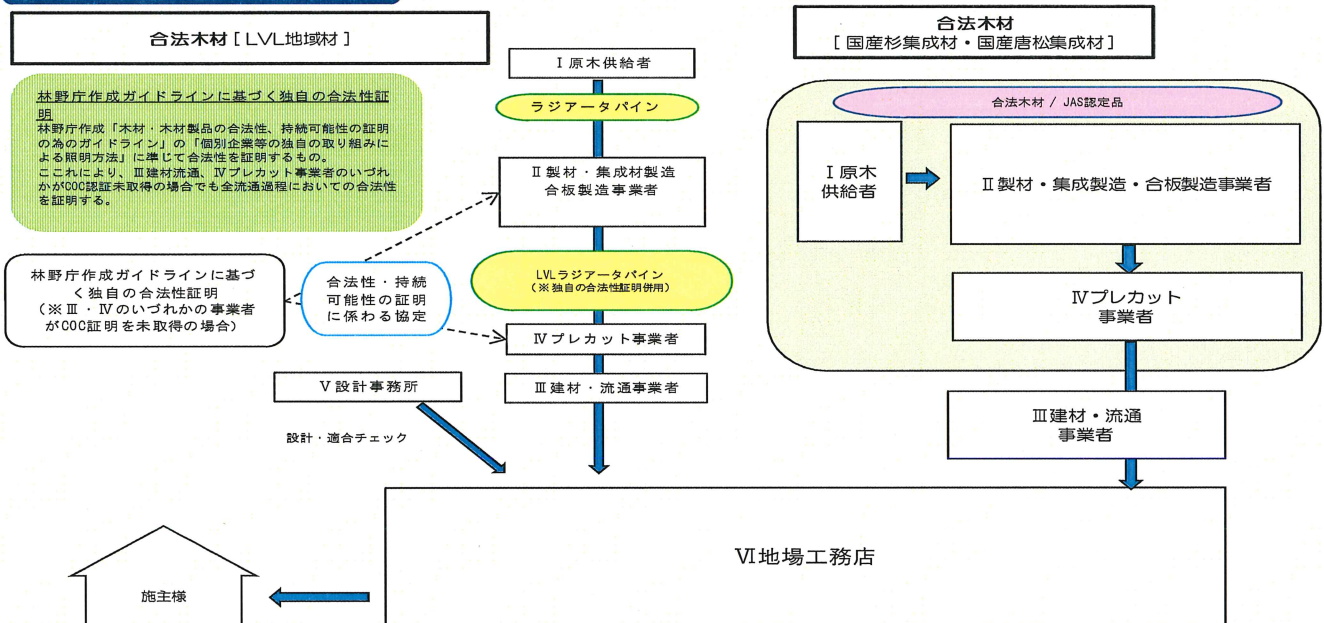
グループ事務局の役割

- 共通ルール of 適合状況を確認、実施。
- 行政への申請や地域工務店へのプランニング等の指摘。
- 会の運営を円滑に行う為の情報発信・広報活動。
- 研修会・説明会の実施

技術研究会の役割

- 住宅の無理無駄削減の検討。設計ルールによる合理化案検討。
- 生産技術向上の為の研修会の実施。
- グループ内のインナーチェック。

地域材の流れ



注 1) 構成員の連携体制や、地域材供給の流れ等について、フロー図等を用いてわかりやすく説明してください。

注 2) 原則として、1枚に収めてください。